



地域 コミセンわじろ

コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

地域が集う。魅力が花咲く。夏祭り2017

和白5校区 夏祭り風景



盆踊りからダンスまで。世代を超えて。

地域の魅力が詰まった一大イベント、夏祭り。秋の体育祭、文化祭などと並ぶ、地域のみんなが世代を超えて集う大切な機会でもあります。夏祭りは自治協議会、町内会など地縁をつなぐ方々が主催で開催されることが多く、盆踊り、特設ステージでの団体やサークルの出演、出店やバザー、フリーマーケット、抽選会など、昔からあるものと新しい催しが並ぶのも楽

しいですね。今回のコミセンレポは、今年の5校区を中心とした「夏祭り」をレポートします。

各校区の祭り詳細

- ① 和白 8/19「第3回校区ふれあい夏祭り」
和白中学校吹奏楽部の演奏、校舎から上がる花火など、充実の内容でした。
- ② 美和台 8/5「第27回まつり美和台」
熊本震災支援のブース、朝鮮学校の参加など、内容のバラエティは随一でした。

- ③ 和白東 7/29「第22回校区夏祭り」
初めて上和白中央公園が会場に。この公園が地域の拠点となりそうです。
- ④ 奈多 8/14「雁の巣夏祭り」
奈多祇園など夏の祭りが多い奈多校区。今回は雁の巣の祭りにお邪魔しました。
- ⑤ 三苦 8/5「第21回まつり三苦」
オリジナルの盆踊り「三苦音頭」で世代を超えた地域の方々が交流します。出店も財布に優しく、親しみやすい祭りでした。

コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで（多目的ホールは午後10時まで）

【休館日】毎月最終月曜日（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28～1/3）

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

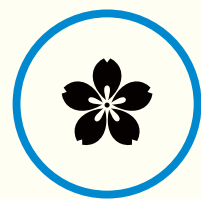
wajico ^[ワジコ] vol. 18 2017 Autumn

pick
up

わじろじまん 立花山(たちばなやま)

わじろ元気印 しの笛クラブ





地域 〇〇 文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介 —

立花山(たちばなやま) 東区のまちの変遷を見守ってきた山



立花山の山頂からは、志賀島、アイランドシティなど和白の景色を一望できる。



▲ エリアマップ



この方に聞きました！

田口 耕一 さん

美和台歩こう会 会長

歴史がある。自然がある。多彩な魅力

福岡市東区、新宮町、久山町にまたがる標高367mの山群「立花山」。正確には7つの峰でできており、その最高峰である井楼山(せいらうやま)のことが、立花山と呼ばれています。南にある三日月山(272m)とともに、地域の方々に親しまれています。かつては遠くから見えるので、海や陸の交通の目印となっていました。また豊後大友氏が築いた「立花山城」という戦国時代まで重要な要塞だった城の跡が存在したり、国の特別天然記念物に指定されているクスノキの原生林が残されているなど、貴重な自然が残っており、登山以外でも多彩な魅力を持っています。

初心者でも無理なく登れる山道

立花山に実際に登ってみました。立花口(新宮町側)下原口(東区香椎側)など複数の登り口、隣の三日月山との縦走などさまざまなコースが楽しめる立花山登山。今回は福岡市内、JR香椎駅からバスで行ける下原口から登ってみました。

登山道はよく整備されていて、歩きやすく、スギやヒノキなど木々に囲まれて

いるため日中でも暑くはありません。もちろん夏には汗も大量にかきますし、場所によっては岩肌が見える険しい道もありますが、登山に慣れた方なら約1時間、初心者でも90分もあれば、往復約4kmの道のりを楽しむことができます。コースによっては立花山城の石垣や古井戸の跡を見学できたり、クスノキ原生林、秋は紅葉を楽しめるところもあるなど、さまざまな楽しみ方ができます。

人々に身近であり続ける存在

立花山の魅力について、「美和台歩こう会」の田口会長に聞きました。「同会は約30年前に発足、メンバー数は現在108名。

毎月1回、約30名が参加して立花山登山を行っており、一年を通して山の魅力に親しんでいます。立花山の魅力、自慢は、身近であることです。歴史や自然の魅力がある山に気軽に登れること。山頂からは志賀島、アイランドシティなど時代で移り変わって来た東区の眺めが一望できます。」最近では学校単位の登山は減ったそうですが、地域では子どもからシニアまで幅広い世代の方々が、登山や散策などで立花山をよく知っているそうです。

「実際の登山や、山に関する話題を通して新しい方々と親しくなれる。それも、この山がさまざまな魅力を持っているからなんですよ(田口さん)」



美和台歩こう会が創立20周年の際に立てた看板。今も道ゆく人の道しるべとして役立っている。国の特別天然記念物に指定されている「クスノキ」。



地域 〇〇 団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

日本の伝統楽器、笛の音が響く。しの笛クラブ

福を吹き寄せ、悪しきを吹き払う魔法の笛

日本の伝統的な木管楽器、横笛の代表格である「篠笛(しのぶえ)」。音楽で元気を届けることを目的に練習に取り組んでいる同団体の谷口さんにお話を伺いました。

—活動のきっかけを教えてください。

篠笛など横笛を吹く会をはじめて、9月で10年になります。当初、笛の教室はないものかと探したものの近辺には見当たらず、いっそのこと、仲間を募り、ともに楽しめるサークルをつくらうということでスタートし今日に至っています。メンバーは現在18名です。

—団体の活動についてお話しください

横笛はドレミ調、歌謡曲や童謡演歌などなど大概の曲は吹けます。趣味に合わせみなさん自由に吹いておられますが、中には笛をはじめてから喘息の持病が良かったという、思わぬ効果のあった方もおられます。呼吸法の改善につながったということでしょうか。笛の会では、笛を通じて多少なりとも人生が潤い楽しめれば幸いと考えています。

また、笛の制作も趣味ではじめて10数



▲ 練習の風景。定期的にコミセンわじろの会議室で練習を行っている。

年経ちました。笛をお持ちでない方には提供しています。

—今後の目標について

大概の人は音を出すのにもひと苦労する笛の世界ではありますが、続ければ必ず吹けるようになる楽器です。奥が深く、飽きることがありません。現在は昼夜2回ずつ、毎月計4回ほど開催、その中で都合の良い時間を選んでの自由参加です。

興味のある方は、いつでもご参加をお待ちしています。

「篠笛(しのぶえ)」

篠笛は平安時代から広く人々に親しまれた横笛。「お囃子用」「唄用」など用途で仕様が異なる。横笛は他にも、大陸から伝わったとされる「龍笛(りゅうてき)」や「能管(のうかん)」などの種類がある。



この方に聞きました！

谷口 保夫 さん

しの笛クラブ 代表

コミセンわじろで練習しています。いつでもご見学にお越しください。



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

春からスタート!「アサカツ」してます。

地域活動の中でも広く行われている、美観や自然保全のための清掃活動。応援課も本年度から、地域が美しくなる活動をはじめています。開館前にコミセン1Fのエントランス、エスカレーター、荷捌き場、2Fのエントランス(JR福工大駅前改札口前)周辺の清掃(通称「アサカツ」)です。通勤、通学、通園の方々と「おはよう

ございます!」と声を掛け合いながらの10分程度のひととき。顔馴染みの利用者さんとの会話も弾みます。

毎朝の積み重ねでコミセン周辺が少しずつキレイになっています。日頃からできる地域応援活動、見かけたらお声がけください。

ご相談やお問合せはコチラまで

092-608-8480

support@wajiro.info

